

平成20年度予算上期の執行状況 (平成20年9月30日現在)

平成20年度は、地域格差の解消による地方交付税の微増が見込まれるものの、長期化する市中経済の低迷から、自主財源である市税調定額が減少傾向にあることにより、厳しい状況にある一方で、歳出は、義務的経費や各会計繰出金の増嵩などにより、市の財政状況は依然として危機的状況が続いています。

こうした財政状況の中で、限られた財源を創意と工夫をもって効果的に配分し、可能な限り各種施策の確保に努め、落石消防団員詰所新築事業、消防ポンプ自動車購入事業、中学校校舎等整備事業をはじめ、市営住宅整備事業、舗装新設事業などの生活環境整備など、各種施策を進めていきます。

○一般会計

予 算 額	歳 入		歳 出	
	収 入 済 額	執行率	支 出 済 額	執行率
149億1,821万7千円	71億5,200万円	47.9%	63億960万円	42.3%

○特別会計

会 計 名	予 算 額	歳 入		歳 出	
		収 入 済 額	執行率	支 出 済 額	執行率
交通傷害共済	970万3千円	938万2千円	96.7%	268万8千円	27.7%
国民健康保険	42億4,320万円	13億6,653万7千円	32.2%	17億5,134万3千円	41.3%
老人保健	3億6,608万6千円	2億5,004万6千円	68.3%	2億3,975万9千円	65.5%
汚水処理	2,628万7千円	385万3千円	14.7%	1,372万4千円	52.2%
農業用水	4,769万円	1,956万6千円	41.0%	1,283万6千円	26.9%
介護保険	14億7,186万5千円	6億7,685万3千円	46.0%	6億9,982万9千円	47.5%
後期高齢者	3億2,039万2千円	9,221万3千円	28.8%	7,247万9千円	22.6%
合 計	64億8,522万3千円	24億1,845万円	37.3%	27億9,265万8千円	43.1%

○市の借入金状況（平成20年9月30日現在）

一時借入金とは、経理運営するうえで資金不足となったときに、他の機関から一時的に資金を調達するものです。これは、短期間の借り入れで将来の負債としては残りません。

現 在 高	一時借入金 0円	
	一般会計 0円	国民健康保険会計 0円

※9月末時点での一時借入金現在高は、0円となっています。

○市債の現在高（平成20年9月30日現在）

住みよいまちづくりを進めるうえで、道路・学校などの大型事業を実施する場合、市税だけではまかなうことができません。そこで、財源の一部として市債により資金を調達しています。長期にわたって返済することにより、世代間の住民負担の公平を図ることができます。

借入 会計名	財政融資資金	ゆうちょ・かんぽ	銀行ほか	合 計
一般会計	120億1,770万2千円	21億2,223万3千円	74億1,938万4千円	215億5,931万9千円